

Wish

世界の子どもたちのために

vol.54

2018年1月号



チャリティーウォークのチェックポイントで水がめ運びを体験する参加者たち。

CONTENTS

特集 EVENT REPORT 兵庫県ユニセフ協会 設立 15 周年記念事業

2-5

ユニセフひろば

グローバル塾 / チャリティーウォーク & みんなのマルシェ

6-7 活動ファイル
2017年9月～12月

8 お知らせ



特集 EVENT REPORT

兵庫県ユニセフ協会設立 15 周年記念事業

ユニセフ ひろば

2017 年は、兵庫県ユニセフ協会が設立されて
15 周年にあたりました。

その記念事業の最後を飾る「ユニセフひろば」は、
三木市にある自然豊かなコープこうべ協同学苑で
2 日間にわたり開催されました。



Event Data イベントデータ

日時	2017 年 11 月 11 日 (土) ~ 12 日 (日)
会場	コープこうべ協同学苑 (三木市)
参加者	11 日 (土) 110 人 12 日 (日) 約 300 人
主催	「ユニセフひろば」実行委員会
協賛	日本コープ共済生活協同組合連合会 コープこうべ共済センター
後援	三木市 コープこうべ



自分を生きる —つながるいのち—

とまり 永遠瑠マリールイズさん
ルワンダの教育を考える会理事長

1965 年生まれ。1994 年ルワンダ内戦の時、3 人の子どもを連れて逃げ込んだ難民キャンプでの奇跡的な出会いにより、福島で暮らすことになりました。2000 年「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、故郷に学校を設立。給食室を作り、健康診断を行い、より良い教育環境を作り続けています。日本各地でルワンダの様子と、教育や命の大切さを伝える講演活動を行うマリールイズさんは、「平和だからこそ当たり前前の生活がある、教育は希望につながる」と語りました。



ア で 働いた 年

さん
ル主宰

1966 年生まれ。困難な状況下で生きる人々に会いたいと 18 歳で放浪の旅に。たどり着いたケニアに定住し、リリアンという女性と一緒に、キベラスラムでマゴスクールの経営を行うことになりました。そこは勉強するだけでなく、食べ物の安心感を得られる場、生きていくための力を身につける場、大人も子どもも助け合ってひとつの家族

グローバル塾

11日は、「グローバル*塾」。世界各地でさまざまな活動をして
おられる5人の講師の方々のお話を聞きました。

第1部では各講師ごとの講座を2コマ受講、第2部では
全員で参加者の感想や講師の思いを共有しました。参加者
それぞれが考え、意見を交換する場となりました。

*グローバル グローバル (global) とローカル (local) からの造語。地球規模の視野と、
身近な地域の視点から、さまざまな問題を捉えていこうとする考え方。

参加者の感想

- 自分の常識、日本の常識が世界の常識でないことが分かった。
- 農業に汚染された生のコーヒー豆の輸入をめぐる話が興味深かった。
- 怖がらずに原因を知ることが大事だと分かった。
- 世界のどこかで戦争が起きている今、当たり前前に時間を過ごせる安心を子どもたちに残していけますか、という問いかけが心に残った。
- 国際政治学は戦争を止めるための学問と分かった。



もっと知りたい・ ちゃんと知りたい コーヒーのこと

石脇智広さん

石光商事(株) 代表取締役社長

1969年生まれ。石脇さんは、主にコーヒーを扱う輸入食品会社の社長であり、全日本コーヒー検定委員会アドバイザーも務めています。講座は石脇さんがいれた薫り高いコーヒーを飲みながら進められました。タイでは、アヘンの原料になるけし栽培に替わりコーヒー栽培を広める王室の麻薬撲滅事業に尽力されました。コーヒー栽培は木陰が適し森林伐採なしに農園を造れることから、社会に優しい飲み物、からだにも心にも優しい飲みものと話しました。



行き過ぎた男の アフリカ往復 半世紀物語

大津司郎さん

ジャーナリスト

1948年生まれ。大津さんを囲んで、若い時の失敗談も交え和気あいあいとした雰囲気の中で進められました。大学3年生の時にアフリカを訪れて以来、時事問題と野生世界の両面を追求し続けて40年余り。アフリカや中東の紛争地で取材やコーディネーターの仕事ができたのは、地元の人間とのネットワークや信頼関係があるから。グローバルゼーションの中、日本はどう生き残れるのか。あらゆる問題の最前線にあるアフリカの現実を伝えたいと熱く語りました。

自分を変える 海外体験

甲斐信好さん

拓殖大学国際学部教授

1958年生まれ。アフリカは、難民、貧困、紛争など多くの問題を抱えています。ケニアの難民キャンプやルワンダの少年兵士の社会復帰施設などを学生たちと訪れています。子どもたちが水汲みに行く姿や元少年兵士との対話など、アフリカの現実を体験して学生たちは変わっていきます。アフリカが学生たちを変えるのです。最後に、ユネスコ憲章を紹介し、戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築いてくださいと話しました。



ケニ 生き 28

早川千晶
マゴンスクー

として暮らす場でもありません。大変な時こそ前を向いて明るく諦めずに生きていくケニアの人々に、早川さんは命の光を感じています。



チャリティーウォーク & みんなのマルシェ



までに
なる
もは？

- ① 5秒にひとり
- ② 5時間にひとり
- ③ 5日にひとり

12日は雲一つない秋空のもと、「チャリティーウォーク」と「みんなのマルシェ」が行われました。「チャリティーウォーク」は、協同学苑内の秋色に染まる2コース（らくらくコースまたはアップダウンコース）を歩き、チェックポイントではユニセフに関するクイズを解いて回りました。「みんなのマルシェ」では、野菜やパンの販売の他、魚釣りゲームやヨーガ体験などで、大人も子どもも楽しい時間を過ごしました。

チャリティーウォークの参加費全額とマルシェの売上金の一部など、2日間の総額 109,040 円をユニセフ募金とさせていただきます。



ユニセフマークはどれ？



- ① うさ子と
おかあさん
- ② ユニセフ
くーまん博士
- ③ 子どもと
おかあさん



マルシェ参加団体 (順不同・敬称略)

- ・あおの市生産者グループ ・そらまめ農場
- ・かけあしの会 ・JF 兵庫漁連
- ・エコファーム ・みずほ協同農園
- ・コープこうべ 第4地区、第5地区など
- ・コープ共済センター
- ・日本アラブ相互文化センター
- ・ルワンダの教育を考える会
- ・マゴソスクールを支える会

参加協力団体 (順不同・敬称略)

- ・TOMOYO ・コープこうべ協同学苑



これは
何でしょう？

- ① マラリヤを防ぐ蚊帳
- ② 魚を捕る網
- ③ サッカーのゴール



水がめに入っている
水の量は？

- 2ℓのペットボトルで
- ① 3本
 - ② 7本
 - ③ 10本



五歳
なく
子ど



問題の答えは
下にあるよ！



ユニセフの
仕事は？

- ① 子どもの命を守る
- ② 動物を大切にする
- ③ 山や川など、自然を守る



1

第4回 国際理解講座
映像で見る「イスラム国」と周辺地域に暮らす女性や子どもたちは今

講師 たまもとえいこ 玉本英子さん (アジアプレス記者)
日時 9月16日(土)
会場 とよなか国際交流センター
参加者 51人
主催 兵庫県ユニセフ協会
共催 コープこうべ大阪北地区活動本部

長年の取材活動から、2017年ギャラクシー賞報道部門優秀賞を受賞された玉本さんを迎え、初めて豊中で開催しました。



イラクでは昨年10月イラク

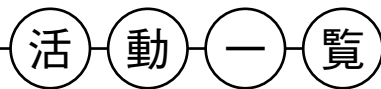
軍、治安部隊、米国軍など有志連合が「イスラム国」IS掃討作戦を開始。今年2月ISは最大拠点モスルの半分から撤退。玉本さんはイラクの治安部隊と共に前線地帯に入り、ガレキの街で「首を切られている人を見た」などと淡々と話す子どもたちの姿にショックを受けました。モスルのIS戦闘員は7割が地元の人です。ISに協力せざるを得なかった人々と、協力を拒んだ人々との間に生まれる復讐の連鎖が今のモスルの一番の懸念です。

最後に玉本さんは「今の社会情勢がどうなのか、外国で何が起きているのかを自分のこととして知ることが大事です」と語りました。



Activities File
活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴
2017年9月～12月



Activities List

学習会訪問一覽

月日	訪問先	対象	人数
9月20日	摩耶篠原コープ委員会 放課後クラブ	幼児～大人	10
9月22日	姫路市立砥堀小学校	小学6年生	64
10月25日	関西学院中学部	中学生	740
12月 3日	ガールスカウト兵庫県第25団	小中学生・大人	22
12月 9日	ボーイスカウト神戸第70団	小2～中3・大人	31
12月20日	福崎町立高岡小学校	小学5年生	14

地域活動一覽

*ユニセフ紹介と支援物資の展示

月日	イベント名
9月16日	第4回 国際理解講座
10月20日	コープ三木緑が丘組合員まつり *
10月28日～29日	兵庫県ふれあいの祭典(西播磨) *
10月28日	姫路市医師会看護専門学校文化祭 *
11月 5日	2017ユニセフカップ にしのみや甲子園ハーフマラソン *
11月10日	ハンド・イン・ハンド募金活動(住吉)
11月11日～12日	兵庫県ユニセフ協会設立15周年記念事業 ユニセフひろば *
11月17日	ハンド・イン・ハンド募金活動(住吉)
12月 8日	ハンド・イン・ハンド募金活動(コープ垂水)
12月 8日	三木緑が丘コープ委員会平和のひろば *
12月 9日	コープこうべ平和のつどい 地球ステージ *
12月14日	大阪北地区平和のつどい 地球のステージ *
12月15日	地球のステージ in 芦屋 *
12月16日	第5回 国際理解講座
12月16日	ハンド・イン・ハンド募金活動(住吉)
12月23日	ハンド・イン・ハンド募金活動(姫路、元町、三宮、住吉、西宮北口)

※トライやる受入 神戸市立上野中学校、神戸市立西代中学校、神戸市立御影中学校、神戸市立本山中学校

2

第39回ユニセフ
ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

日時/場所 11月10日(金)/住吉
11月17日(金)/住吉
12月 8日(金)/コープ垂水
12月16日(土)/住吉
12月23日(土祝)/姫路・元町・三宮・住吉・西宮北口



今年のテーマは「子どもたちに生きるチャンス」。募金総額は296,135円にのびりました。皆様の温かいご協力ありがとうございました。

兵庫から岩手へ チューリップ募金

昨年も10月に岩手県のおさなご幼稚園、みどり幼稚園、大槌保育園にチューリップの球根を届けました。

募金していただいた学校・団体 (7月～10月)

兵庫県ユニセフ協会を通して募金していただいた学校・団体のお名前を記載しています。(敬称略、順不同)

播磨町立蓮池小学校、(社福)報恩感謝会 あさひ児童館、認定こども園 あさひ保育園、育英高等学校、西神戸教会女性部、関西学院中学部
ご協力ありがとうございました。

3 トライやるで 世界を学ぶ

11月 6日(月)～ 9日(木) 神戸市立西代中学校
 11月 6日(月)～10日(金) 神戸市立上野中学校
 11月 6日(月)～10日(金) 神戸市立御影中学校
 11月13日(月)～17日(金) 神戸市立本山中学校

おかだともや かしわぎはやと
 岡田知也さん、 柏木勇人さん
 いしかわひな 石川陽菜さん
 うのてんゆう 宇野天結さん、 のむらみか 野村未夏さん
 かとうまさたけ 加藤正剛さん、 すがおれん 須川廉さん

「ユニセフ活動について知りたい」「海外でのボランティアに関心がある」と将来の世界を担う子どもたちがやってきました。事務所の清掃は毎日。ユニセフの基礎学習、現地へ行った人の生の声を聞くユニセフスタディーツアー ブルキナファソ報告で世界の厳しい現状を学び、テーマを決めての新聞や募金用ポスター制作では調べ学習をし、工夫を凝らして仕上げました。外国コインの仕分けや、ポスターを持っての街頭募金活動は初めての体験でしたが、興味深く楽しく取り組んでいました。



▲ それぞれがテーマを決めて新聞を作りました。

4 「ユニーズ*1」タンザニア留学レポート 人生が変わった 16歳の夏

萬谷 美里さん

私はトピタテ!留学 JAPAN*2 に採用していただき、アフリカのタンザニアに7週間行ってきました。タンザニアに行くまでは、国際ボランティアとして何をしてあげようかと考えていました。しかし、実際に現地に行って、人々の明るくて純粋な心と接したり、必要最低限のものしかない生活を送ったことから逆に多くのこと



▲ 小学生に囲まれる萬谷さん。

を学び、影響を受けました。そして、この経験を通して自分が変わったことを実感しています。

また、教育のスキルを上げてアフリカに戻りたいという大きな夢が出来ました。人々が自立するためには教育が必要です。私



▲ マサイ村の人たち。

は留学中にマサイ村の小学校で生徒たちに勉強を教えていました。楽しい授業が出来るように毎日精一杯準備をしました。子どもたちが楽しそうに授業を受けている姿を見て、私もとてもうれしかったです。これから、もっと楽しくてかつ身につく教育法を学んで子どもたちともっといい笑顔を交わしたいです。

一般的にアフリカといえば貧困、紛争、病気などのマイナスなイメージしか浮かんでこないけれど、すぐそこにキリンやシマウマがいても驚かないほどの大自然、そして何よりそこで暮らしている人たちの温かさ。すべてが明るくてとても良かったです。

この経験を大切にして、これからの人生に生かしていきたいと思えます。

*1 ユニーズ 兵庫県ユニセフ協会学生ボランティアグループ

*2 トピタテ!留学 JAPAN 官民協力海外留学支援制度

5 笑顔あふれる文化祭に 行ってきました!!

日時 10月28日(土)

場所 姫路市医師会看護専門学校

未来の看護師を目指す学生たちとともにユニセフの活動を紹介しました。看護学校の文化祭とあって、ユニセフへの関心の高い方々や子どもたちの参加も多く、学生たちは分かりやすく支援物資の説明をしていました。また、子どもたちに優しく紙芝居を読んであげたり、風車を楽しく一緒に作りました。ブースには笑顔があふれていました。



▲ 紙芝居「井戸ができたよ」を読む学生たち。

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ干ばつ	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道支援 K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

募集中!

ユニセフ
ひょうご
サポーター

賛助会員として活動を
支えて下さる方を
募集しています。

ユニセフ
ボランティア

「できる人が できる
時に できることを」
一緒にしませんか。

Wish vol.54

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2018年(平成30年)1月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日10:00～16:00)

FAX：078-451-9830

●最新の情報はホームページで

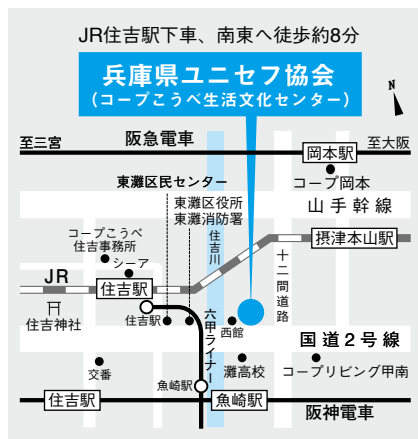
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

詳細は HP をご覧ください。

かわさきあきら
川崎哲さん講演会
核兵器禁止条約を考える
～今、私たちにできることは～

日時 2月10日(土) 10:00～12:00
会場 コープこうべ生活文化センター
定員 100人
講師 川崎哲さん
ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン) 国際運営委員、他
後援 ピースプラットホーム
コープこうべ



第1回 国際理解講座
一人ひとりの若者が自分の未来
に希望をもてる社会を(仮)

日時 4月21日(土) 13:30～15:30
会場 コープこうべ生活文化センター
講師 今井紀明さん
認定NPO法人D×P理事長
D×Pは、高校生が進路未定のまま卒業することや中退することを防ぐための取り組みを、高校の先生方と連携しながら展開しているNPO



お申込み、お問い合わせ先

事務局 078-435-1605

News お知らせ

1月20日(土) - 28日(日)	ユニセフ写真展 「アフリカに必要なもの」 アグネス・チャン大使が見た ナイジェリア
1月27日(土)	ユニセフスタディツアー ブルキナファソ報告会

会場はいずれもコープこうべ生活文化センター

Booth 出展参加

2月11日(日)	2018 ユニセフカップ 神戸 バレンタイン・ラブラン
2月25日(日)	コープファミリーフェスタ(西宮)
3月11日(日)	神戸国際交流フェア
4月8日(日)	2018 ユニセフカップ 芦屋さくらファンラン

事務局からのお知らせ

兵庫県ユニセフ協会
「第15回理事会、第8回評議会」
を開催しました。

日時：2017年12月11日(月)
会場：コープこうべ生活文化センター

2017年度の事業報告と決算見込みに関する件、2018年度の事業計画と予算に関する件、役員に関する件等、すべての議案に了承いただきました。

2018年は、より一層広報活動を強化し、次の世代につながる活動に努めます。